

赦し = “手放す”

他の人たちを解放する/手放す

私たちは、何か間違っただけをした場合、神様や相手にごめんなさい、と謝ることが出来ます。

しかし、誰かが私たちに対して、間違っただけをしてきた場合には、どうすれば良いのでしょうか？

聖書にある“赦し”という言葉は、シンプルに“手放す”ことを意味します。腹を立たされたり、傷つくことをされたとしても、相手からの謝罪が無いことが人生にはよくあります。しかし、健康的な人間関係を持つためには、たとえ相手からの謝罪が無かったとしても、私たちは“手放す”決断をする必要があるのです。聖書には、神様が私たちのことを赦してくれたように、私たちも他の人を赦すべきだと書いてあります。

イエスが伝えた「他の人を赦すストーリー」

マタイ18:21

(21) そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。兄弟が私に対して罪を犯した場合、何度まで赦すべきでしょうか。七度まででしょうか。」

ペテロは、どうしてイエスにこの質問をしたと思いますか？

マタイ18:27

(27) しもべの主人は、かわいそうに思って、彼を赦し、借金を免除してやった。

王は、どうして男の借金を赦したのですか？

マタイ18:32-33

(32) そこで、主人は彼を呼びつけて言った。『悪いやつだ。おまえがあんなに頼んだからこそ借金全部を赦してやったのだ。』

(33) 私がおまえをあわれんでやったように、おまえも仲間をあわれんでやるべきではないか。』

この男がしたことは、何が間違っていましたか？

マタイ18:21-35

(21) そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。兄弟が私に対して罪を犯した場合、何度まで赦すべきでしょうか。七度まででしょうか。」

(22) イエスは言われた。「七度まで、などとはわたしは言いません。七度を七十倍するまでと言います。」

(23) このことから、天の御国は、地上の王にたとえることができます。王はそのしもべたちと清算をしたかった。

(24) 清算が始まると、まず一万タラントの借りのあるしもべが、王のところに連れて来られた。

(25) しかし、彼は返済することができなかったので、その主人は彼に、自分も妻子も持ち物全部も売って返済するように命じた。

(26) それで、このしもべは、主人の前にひれ伏して、『どうかご猶予ください。そうすれば全部お払いいたします』と言った。

(27) しもべの主人は、かわいそうに思って、彼を赦し、借金を免除してやった。

(28) ところが、そのしもべは、出て行くと、同じしもべ仲間、彼から百デナリの借りのある者に出会った。彼はその人をつかまえ、首を絞めて、『借金を返せ』と言った。

(29) 彼の仲間は、ひれ伏して、『もう少し待ってくれ。そうしたら返すから』と言って頼んだ。

(30) しかし彼は承知せず、連れて行って、借金を返すまで牢に投げ入れた。

(31) 彼の仲間たちは事の成り行きを見て、非常に悲しみ、行って、その一部始終を主人に話した。

(32) そこで、主人は彼を呼びつけて言った。『悪いやつだ。おまえがあんなに頼んだからこそ借金全部を赦してやったのだ。』

(33) 私がおまえをあわれんでやったように、おまえも仲間をあわれんでやるべきではないか。』

(34) こうして、主人は怒って、借金を全部返すまで、彼を獄吏に引き渡した。

(35) あなたがたもそれぞれ、心から兄弟を赦さないなら、天のわたしの父も、あなたがたに、このようになさるのです。」

イエスは、ペテロに何を教えようとしていましたか？

どうして他の人を赦すべき？

マタイ6:14-15

- (14) もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してください。
(15) しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。

神様が私たちが赦してくれたことと、私たちが他の人を赦す事は、どう関係していますか？

ルカ6:37-38, ローマ12:17-19, ヘブル10:3

ルカ6:37-38

- (37) さばいてはいけません。そうすれば、自分もさばかれません。人を罪に定めてはいけません。そうすれば、自分も罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、自分も赦されます。
(38) 与えなさい。そうすれば、自分も与えられます。人々は量りをよくして、押しつけ、揺すり入れ、あふれるまでにして、ふところに入れてくれるでしょう。あなたがたは、人を量る量りで、自分も量り返してもらうからです。」

ロ-マ12:17-19

- (17) だれに対してでも、悪に悪を報いることをせず、すべての人が良いと思うことを図りなさい。
(18) あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。
(19) 愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる。」

ヘブル10:3

- (3) ところがかえって、これらのささげ物によって、罪が年ごとに思い出されるのです。

どうして、私たちは他の人を非難し、リベンジをするべきではないのでしょうか？

ルカ23:34

- (34) そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

どのようにイエスの模範に従うことが出来ますか？

手放す

マルコ11:25

- (25) また立って祈っているとき、だれかに対して恨み事があったら、赦してやりなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの罪を赦してください。

赦さない心は、どのように私たちの生活を制限し、影響をもたらしますか？

私たちが抱え込んでしまっているけれど、手放すべきものは、どのようなものでしょう？

コロサイ3:12-13

- (12) それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。
(13) 互いに忍び合い、だれかがほかの人に不満を抱くことがあっても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。

この聖書箇所は、他の人を赦すために、どのように私たちが助けてくれますか？

友達に聞こう

誰かを赦したストーリーがあれば、シェアしてください。

どうして、どのようにその相手を赦しますか？

赦したことは、あなたにとって、どんな助けになりましたか？

実践

どのように誰かを赦すことができますか？
考え方や行動を変えるために、どんなステップを取っていきますか？
どんな時も赦すことができるように、神様に祈って助けてもらいましょう。

祈ろう！

イエス、私を赦してくれてありがとう。次は、私を傷つけてきた相手を、私が赦します。その人たちを祝福できるように助けて。イエスがどんな痛みや苦味からも、私を癒して、自由にしてくれることをありがとう。

覚えよう！

コロサイ 3:13 (JCB)

互いに耐え、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったのですから、あなたがたも、人を赦すべきではありませんか。